

令和元年度 大阪府立今宮高等学校 第3回学校運営協議会 議事録

【日 時】令和2年2月12日（水）15:40～17:00

【場 所】大阪府立今宮高等学校 校長室

【委 員】吉村 和彦 芦屋大学特任教授 元今宮高等学校長
向井 秀俊 大阪市立木津中学校校長
山本 英夫 戎橋筋商店街振興組合 事務局長
川島 経正 自彊会（本校 同窓会）会長（欠席）
宮崎 次郎 本校 後援会会長
阪田 全弘 本校 P T A会長

【事務局】校長、教頭、事務長、首席

【内 容】事務局からの報告

- ① 保護者からの意見
- ② 令和元年度学校教育自己診断結果について
- ③ 令和元年度学校経営計画及び学校評価（案）について
- ④ 令和2年度学校経営計画及び学校評価（案）について
- ⑤ 令和2年度入学25期生の教育課程について
- ⑥ 令和2年度入学25期生の「産業社会と人間」指針について
- ⑦ 22期生の進路状況について

【説明・意見等】

○質問・意見

- ・②について、家庭学習に課題があるとはどのようなことか。

回答

- ・教員が予習・復習を前提に授業をしようとする、生徒が予習・復習をしていないことで、進行が止まるような場面がある。少なくとも40%以上の生徒が家庭学習を毎日行い、50%を目標にするぐらいをめざしたいと考えている。状況を分析して新しい対策を実行する必要がある。

○質問・意見

- ・土曜日も授業があり進学実績を上げている私学への志向が高まっている。

回答

- ・進学一辺倒の教育は考えていないが、進学実績の向上は大きな課題だと捉えている。

○質問・意見

- ・習慣が人生を変える。気持ちが変われば習慣が変わる。世の中に対する義憤など、今宮ならではの野望と志（こころざし）を抱いてほしい。

- ・高校時代に社会問題を考える人間になるきっかけを作ってもらいたい。

回答

- ・社会に目を向ける生徒を育てるべく、「産業社会と人間」の新しいプログラムを実施する。自治会にも社会問題に取り組むことを促したい。
- ・今年の分析を踏まえ、これから改善に向けて取り組んでいく。

○質問・意見

- ・生徒・学生を型にはめ込む高校・大学ではなく、世界に飛び出していくような教育をしなければいけない。
- ・「産業社会と人間」で、多くの出会いの場を設けてほしい。様々な年齢、様々な地域、様々な職業の人々と語り合うことで広い視野が養える。
- ・受け身ではなく、自分から考えることで生徒は成長する。考えさせる時間と場を多く設けてほしい。

回答

- ・次年度は、「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」を主軸に、探究学習とキャリア教育を関連させながら、主体的な教育活動を展開していきたい。

〈次回予定〉

令和2年度 第1回 6月12日（金）